

褒めること

ドーマン： また、もう一つの可能性もあるわけです。こんどは逆に、お母さんが「まあ、二分の一秒もぶら下がれたのメリー。こんな小さな、そして、体の麻痺している女の子が二分の一秒もぶら下がれると誰が思うでしょう」というようにも言えるわけです。「この病院の中では、あなたが一番偉い女の子よ。アメリカ中だって、一番偉いかもしれない。世界中だって、一番偉いかもしれない」と言うのです。

そうしたら、メリーは、“これは成功だったんだわ、それじゃもう1回やってあげようか”と思います。

私の申しあげることは、非常に単純なことです。彼女が成功したということを褒めてあげて、失敗したことをけなさないのです。褒めてあげなければ、メリーちゃんは、必ず、もう1回鉄棒にぶらさがろうとします。根気よくそれを続けていけば、メリーちゃん

は、とても長い間、チャンピオンになれるくらい鉄棒にぶら下がっていることができるかもしれません。

たくさんのオリンピックの選手の中には、かつては体の麻痺していた人が大へん多いのです。私が強調して言いたいことは、そういう人たちの両親は、きっと、一生懸命、彼らの努力を褒めていた方がただらうと思います。